

Next missions

これから取り組みたい課題

Mission 01

NPOとしての経済的な自立・企業との連携

WAM助成に大きく依存していた部分を自立へと転換する必要がある。行政との連携に加え、地域企業との持続可能な連携をより深めていく。

具体的には、新たにコーベヤスポーツ三木本店3階での居場所等を開催し地域の親子の集まる場となることで、企業側の集客や知名度にも貢献し協賛等につなげていく。また、利用料、託児料金等を適正な値段に設定しなおし、経済面の健全化を図る。

母親たちの柔軟な働き方の創出やオリジナル商品の販売など、企業と連携することで可能になる分野を幅広く模索していきたい。

2023/4/10～ 新拠点「hoppe」(コーベヤスポーツ3F) 開所

Mission 02

あたらしい託児のかたち



ただ子どもを安全に預かることに留まらず、託児中に子どもが、新しい発見をしたり、楽しみやワクワクを感じたりできる居場所になることを目指す。責任をもって子どもをサポートできるだけの人員配置には費用がかかるが、大切な命を預かるという点でそこだけは譲れない。

コロナ禍の後、働き方も変わってきた。週に数回や、毎日数時間だけなど、子育てに優しい働き方を目指している企業も増えつつある。保育園等の入園条件を満たさないが、少しでも仕事したい母親たちに、安心して利用してもらえる託児を行ってきたい。

Mission 03

SNSを活用した情報伝達

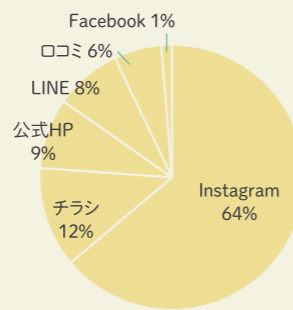
WAM柱立て3(2)

母親たちは主にSNSやインターネットを通じて情報収集を行っている。今年度も継続してSNSを使った告知や集客方法の習得を目指しスタッフを教育した。オンラインなどでセミナーを受講し、知識を習得。ほっぺのアカウントを使って実践した。前年度から継続的に行うことで、SNSによる集客が安定してきている。

また、NPO法人北播磨市民活動支援センターからの依頼で「北はりまソーシャルワークmeet up!～非営利団体のSNS活用を事例から考えよう～」にゲストスピーカーとして登壇。

WAM助成により2年間続けて重点的に取り組んだ成果が出てきている。今後も積極的に取り組んでいきたい。

イベントを知ったきっかけ



2022年度 イベント申込 465件から調査

北はりまソーシャルワークmeet up! ～非営利団体のSNS活用を事例から考えよう～



Mission 04

子育ての現状を伝える活動

- 6月23日 cafe flat
- 9月12,13日 関西国際大学看護学科
- 11月14～18日 自由が丘中学校
- 11月23日 てとて広場
- 参加型子育て相談会
- 地域ふれあい実習
- トライやるウィーク
- 子育て相談会



ほっぺの認知度が上がるにつれ、講演や視察等の依頼も増えてきた。これからは担う、学生たちへ「子育ての現状」を伝える活動も積極的に行っていきたい。

Mission 05

行政との連携・働きかけ

2023年4月からこども家庭庁がスタートする。親だけでなく、企業、事業者、行政等社会全体で「子どもをまんなか」にした社会を作っていきたい。今年度は子どもの減少という理由から、行政からの補助は叶わなかったが、今声の届かない0歳から2歳の支援の充実が実現するよう期待する。

運営体制

会議に関する事項

- NPO総会**
2022年6月11日(土) 10時～ 理事長宅にて
出席者14名(うち委任状出席者数11名)
事業報告/決算報告/事業計画/活動予算/役員を選任
- 理事会**
2022年6月11日(土) 11時～ 理事長宅にて
出席理事数 5名(うち書面表決者2名)
理事長及び副理事長の選定について
- 本部会議**
2022年4月～2023年3月 2-3回 オンライン/拠点にて
本部(理事長/拠点運営長/事務局長/会計)4名
NPOの活動方針など

運営体制

- 事務局**
統括/事務スタッフ 6名
 - 拠点運営**
運営スタッフ 8名
 - 専門スタッフ**

保育士	3名
心理等相談員	2名
子育てコーディネーター	1名
子育て支援士2種	7名
栄養士	1名
看護師	1名

(※運営スタッフと重複あり)
 - 会員**

正会員	15名
賛助会員	個人2 団体1
- 活動時間
加佐ほっぺ 2678時間
青山ほっぺ 468時間
オフィス 511時間
3657時間



〒673-0533
兵庫県三木市緑が丘町東2丁目4-10
特定非営利
活動法人 **ほっぺ**
☎090-3827-4483

Annual Report 2022

年次報告書
WAM助成Report

Our Goal

いつでもだれもが「ほっ」とできる温かい居場所を作り、すべての母親が「産んでよかった」と思える地域社会の実現に寄与することを目的として活動しています。

HOPPE

子育てのリアル & ほっぺ活動Report

急な用事、子どもの経験

親子が離れて過ごす時間を有意義に

通常の利用に加え、子どもの経験や母子分離など意味のある時間の過ごし方を望む人がリピーターとして利用することも増え、託児のイメージが変わりつつある。



通常の利用に加え、子どもの経験や母子分離など意味のある時間の過ごし方を望む人がリピーターとして利用することも増え、託児のイメージが変わりつつある。

一緒に過ごせる間に

親子で一緒にイベントを楽しみたい!

仕事復帰までの期間や、乳幼児期にじっくりと子どもと過ごす時間を作りたいというニーズが高まっている。



アウェイ育児、在宅育児

子育て相談先、繋がりがほしい

市内では0~3歳児の約1500人の子供が保育施設利用なしの状況と推定されている。乳幼児を抱える母親たちに対し社会からの孤立を防ぐサポートが必要。



WAM柱立て2(3)

託児

年間 **362** 時間 **101** 件

拠点内でひろば型託児を行った。繰り返し利用される方も多く、ほっぺのイベントや居場所の存在は知らず、はじめて託児で利用する方もみられた。

母子分離イベント

毎月1・2回母子分離型のイベントを開催(17回)昼食持参で親と離れ集団遊びを体験した。

年間利用のべ **87** 組

加佐ほっぺ 青山ほっぺ で開催
月曜日～金曜日/第1・3土曜 10時～16時



出張型託児(団体向け)

下記の指定の場所で託児を行った。

- ・コープこうべ協同学苑(年間委託)
- ・男女共同参画(年間委託)
- ・吉川公民館
- ・ナリス化粧品

new huggy(預かりレッスン) WAM柱立て2(5)

知育を行うクラスを提供した。クラス内では、自己肯定感を育み一人一人の子どもに向き合い支援。また、レッスン内だけでなく、家庭も温かい居場所になるようにサポートを行った。



しろくま Room

認外保育園/1歳半～/週2回/10時～13時半
モンテッソーリを軸としたひとりひとりの個性を尊重する保育を行った。次年度より週3回のコースも設定しニーズに応じていく。



あそび Labo

2歳から小学生を対象に、40分～60分の少人数制知能遊びクラスを行った。幼稚園、保育園、小学校に通う子どもたちの降園・放課後の利用が多かった。

WAM柱立て2(5)

乳幼児親子向けプログラム

前年度に引き続き、COVID-19の影響もあり大きなイベントを控え、10～20名程度の小規模イベントを数多く開催した。

「親子の時間を大切にしたい」という子育て世代のニーズにマッチし、特に1歳半以上からの年間クラス制ひろば「にこにこほっぺ」は参加した親子の数が前年比40%増加という結果になった。

イベントを習い事の練習のように利用される方も多くみられた。



季節 イベント 3回

自然体験/ハロウィン/クリスマス会 など



親子向け イベント 131回

Hello baby/Hello hoppe/Welcome baby
にこにこほっぺ/英語でほっぺ/音楽遊び
リトミック/huggyべんぎんRoom など



母親向け イベント 16回

リフレッシュヨガ/ボディーケア/すてっぽほっぺ など

WAM柱立て2(1)

自由来所の居場所づくり

月曜日～金曜日/第1・3土曜 10時～16時

加佐ほっぺ 青山ほっぺ

年間 **193** 回 年間 **39** 回

WAM柱立て2(4)

育児相談

加佐ほっぺ 青山ほっぺ

月曜日～金曜日/第1・3土曜 10時～16時
拠点での育児相談を行った。

オフィス

4月～1月 月一回 10時～12時
小学生以上、保護者相談。進路等、連携を保護者と本人が求めた場合には関係機関と連携し連絡相談を行った。

WAM柱立て3(1)

スタッフの教育

母親たちに寄り添うことができるスタッフの育成。組織内での研修を行った。

Check!!

Online

WAM柱立て1(1)

プレママ・パパ向け情報発信

Instagram・YouTubeにて週一回の音声配信を行った。

ママたちのリアルな不安や悩み、そしてわが子との向き合い方など、一人ひとり悩みは違ってもポジティブに笑顔で子どもと向き合えるような内容を意識し配信した。

年間 **49** 配信
14912 回
視聴数

WAM柱立て1(2)

オンライン相談窓口

2タイプの相談窓口にて対応した。

- 01 LINE無料相談(年中無休)
- 02 オンライン有料相談窓口(予約制)

WAM柱立て2(2)

オンラインプログラム

手遊びや工作など、親子で家の中でも楽しめるプログラムを提供。

年間 **12** 配信
1712 回
視聴数

母子分離ひろばまたは託児を利用

今まで離れたことが無かったので心配していましたが、離れてしまえば意外とうちの子も頑張れるんだということがわかってよかったです。

利用者の声

リフレッシュできましたが、子どもの泣く姿が辛過ぎて、焦らず子どもと過ごそうと思えました。

親子で過ごすのとは違った雰囲気を楽しむことができたのでよかったです。親も自由時間ができてのんびりできました!

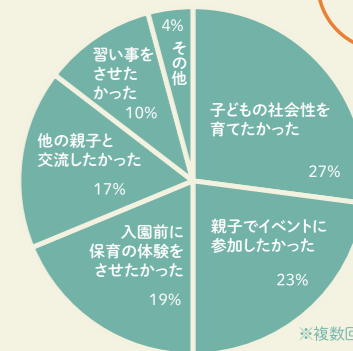
今まで子どもを預けた事がなかったのでもっと練習になったし、私もリフレッシュ出来て心に余裕が出来たと思います。

※2022年度託児/母子分離イベント利用者アンケートより

1歳半からの年間クラス制「にこにこほっぺ」

にこにこほっぺに参加した理由は何ですか?

利用者の声



家でできない経験をたくさんさせてもらえて親子共に楽しめました。保護者に向けて話すのではなく、主役は子どもというスタンスがとても嬉しく、幼稚園の参観日に来るような感じを味わえました。

活動内容の幅が広く毎回とっても楽しかったです!リトミックを特に楽しんでいました!絶対に参加しなきゃいけないみたいな雰囲気がなく、のびのびと楽しめたのもとても良かったです。

子どもが初めはずっと泣いていたのに、楽しそうに活動できるようになりました。お友だちの名前を覚えたり、先生に会うのが楽しみになっている姿を見て参加してよかったなと思いました。

※2022年度にこにこほっぺ参加者アンケートより

今年度の相談の傾向

「ただ、話を聞いてほしい」など、子育てで孤独を感じて来られる方が多かったです。スタッフに対してや、利用者同士などで、些細な会話の中での悩み相談が自然とやり取りできるような温かい雰囲気ができていた。

子どものイヤイヤ期の対応
子どもの生活習慣(食事、お風呂、トイトレ、睡眠)
パパの育児参加の仕方
発達のこと
ママのリフレッシュの仕方
仕事復帰の時期
園でのお子さんの悩み など

年間利用者のべ

6363 人